

平成30年度基金活用事業

※金額は予算の額になります。

活用区分	主な事業	事業内容
自然及び生活環境の保全に関する事業	生ごみ堆肥化促進事業 (3,600千円)	民間堆肥化施設を活用し、家庭から排出される生ごみ、施設に直接搬入される草・枝木類及び小学校、幼稚園、保育所等の給食残渣を堆肥化することで資源化を図り、循環型社会を推進する。
	軟質プラスチック類分別事業 (6,460千円)	可燃ごみには、まだまだ多くの資源として利用できる軟質プラスチックが含まれている。循環型社会を推進していく目的で軟質プラスチックを分別し、固形燃料化により再資源化を図る。
	公園維持管理費 (7,688千円)	公園が安らぎと憩いの場、レクリエーションやコミュニティー活動の場、災害時の避難場所などとして、快適かつ安全な空間となるように、遊具・トイレ・樹木などの公園施設の維持管理や除草・清掃などの環境美化に努めていく。
産業の振興に関する事業	漁業経営開始円滑化事業 (4,167千円)	沿岸漁業への新規就業者が漁協等による研修を受け、新たに漁業に着業する際に必要な漁船・機器等の取得を軽減し漁協の将来を担う漁業者の確保を図る。また、新規就業者の確保により、高齢化による漁業者の減少、水揚減少の解消を図る。
	弓浜緋及び伯州綿製品販売・PR事業 (192千円)	水木しげるロードにおいて、県内外及び外国人観光客に対して弓浜緋、伯州綿製品を販売、PRする。
	水産加工品ブランド化事業 (1,876千円)	「産地境港」を全国情報発信するため、首都圏・関西方面を中心としたイベントに参加し、境港の水産物や水産加工大賞の商品のPR、ポスター・冊子などの作成、「みんなで選ぶ境港の水産加工大賞」の開催などを行う。
観光の振興に関する事業	情報発信連携強化事業 (1,942千円)	鉄道、飛行機、船などの交通機関に係わる事業者との連携により、全国をターゲットとした情報発信を行う。また、各種イベントと連携した情報発信を行う。
	クルーズ船観光客シャトルバス送迎事業 (2,357千円)	クルーズ客船の利用客を対象とした二次交通対策として、港と境港駅前等の市街地を接続するシャトルバスを運行する。
	水木しげるロードリニューアル事業 (10,813千円)	水木しげるロードを「すべての人にやさしい道」、「誰もが楽しめる道」として、訪れる方々がより快適・安全・楽しく過ごせる道路空間へとリニューアルすることにより、将来にわたり賑わいを継続させ、持続的な地域発展を図る。
子育て支援、教育環境の充実に関する事業	小・中学校ICT環境整備事業 (20,499千円)	学習活動の充実を目指し、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を有効に活用することができるよう、ICT等の環境整備を行う。
	小児インフルエンザ予防接種費助成事業 (2,389千円)	インフルエンザの流行が危惧される今日、感染力も強く、重症化しやすい疾患を予防するための注射を、より接種しやすい環境をつくることで、子どもの健康管理の強化を図る。
	保育所待機児童対策事業 (2,821千円)	民間の保育園などで安定的に職員(保育士等)を確保できるよう環境を整え、年度中途の乳児の受け入れる体制を整備して待機児童の発生を抑制する。